（参考資料）工事概要

(1)中央環状新宿線の概要

首都東京の交通の大動脈として人々の暮らしを支える高速道路ネットワーク。その骨格は３つの環状方向の高速道路と９つの放射方向の高速道路です。都心から 8km に位置する首都高速中央環状線は、この３環状道路の一つで、47km の計画延長に対し東側及び北側区間 26km が開通しています。現在、山手通りの地下で建設の進む**中央環状新宿線はこの中央環状線の西側区間 11km にあたります**。

高速 3 号渋谷線、高速 4 号新宿線及び高速 5 号池袋線を相互に接続するこの道路が完成すると、放射道路と組み合わせて首都高速道路を効率よく走ることが出来るようになります。この結果、都心環状線に集中する交通が分散し、**渋滞が大きく減少**します。また、新たに設置される６箇所の出入口を利用することで、**渋谷・新宿・池袋の各副都心が便利に行き来できる**ようになり、首都機能が高まります。また、平成 18 年度から事業化する南側区間９km の**中央環状品川線**が開通（平成 25 年度）することにより中央環状線が完成します。

なお、中央環状新宿線は、①高速 5 号池袋線から高速 4 号新宿線までの区間を平成 19 年 12 月までに開通、②高速 4 号新宿線から高速 3 号渋谷線までの区間を平成 21 年度中に開通することを目標にして工事を進めています。

(2)西新宿ジャンクション（仮称）の概要

今回工事が行われる西新宿ジャンクション（仮称）は、中央環状新宿線と高速 4 号新宿線（郊外方向）を連絡するジャンクションです。このジャンクションの整備により、**高井戸・中央道方面と池袋・東北道方面及び渋谷方面とのご利用が大変便利になります**。

(3)橋梁架設工事の概要

西新宿ジャンクションは、営業中の高速４号新宿線の初台出入口と新宿出入口間に同線の上空を跨ぐ構造で整備されます。そのため、工事に際しては、**安全確保のため、５月～７月にかけて計５回、初台～新宿間を通行止めする**こととなりました。

通行止めを伴う工事は、交通量の最も少なくなる**日曜日の深夜（月曜日の午前１時～５時）に実施**するとともに、あらかじめ部材を組み立てて大きなブロックにしてから**大型トラッククレーン（最大 550t 吊）で架設**することにより通行止め回数を出来る限り少なくし、交通への影響を最小限にします。

なお、国道 20 号（甲州街道）のアンダーパスは通常どおりご利用いただけますが、国道 20 号の側道と山手通りについては工事中規制を行います。

(4)道路交通情報

通行止め工事の期間中は、ラジオＣＭ、ポスター、リーフレット、インターネット、横断幕、道路情報板などで工事規制内容などをお知らせします。

①　旅行計画に役立つ道路交通情報

◎ 通行止め工事をお知らせするリーフレット、ポスターなどを各パーキングエリアのインフォメーション、料金所で配布または掲示

◎ 横断幕を設置

◎ ラジオＣＭを実施

◎ インターネットで情報提供　http://www.shutoko.jp

②　お出かけ前の道路交通情報

◎ 首都高お客様センター【受付時間７：００～２０：００（年中無休)】
０３-３５８０-１８８１※
※ 専任のオペレーターが回答します。

◎ 日本道路交通情報センターの道路交通情報
０５７０-０１-１０１１（全国統一番号）※

③　タイムリーな道路交通情報

◎ 首都高速テレフォンサービス【５分毎の最新情報を２４時間提供】
０３-５６３２-２２３３ ※
※ 音声ガイドに従って下さい。**(4 号新宿線の路線コード　上り 041＃、下り 042＃)**

◎ 道路情報板

◎ 情報ターミナル（渋滞情報をテレビ画面などで、分かりやすくお知らせします）
駒形 PA と加平 PA を除く 17 箇所の各 PA

◎ ＶＩＣＳ（ＶＩＣＳ対応のカーナビゲーションなどの車載機で、道路交通情報が入手できます）

◎ その他（標識車、工事看板、パーキングエリアのインフォメーション、料金所）

(5)お客様へのお願い

◎ 渋滞後尾での追突事故にご注意下さい
渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞後尾での追突事故が発生しやすくなりますので、渋滞にあった場合には後続車に合図するなどして、追突事故の防止に心掛けて下さい。